


支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 12 日
支出目的	市議会だより郵送のため		
支出金額	7,592 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	永山郵便局		
内 容	市議会だより郵送(料金別納)		
備 考	区内特別郵便(定形) 73 円 × 104 通		

領収書

横山 啓一 様

[別納引受]	
区内特別基 (定)	
@73 104通	¥7,592
<hr/>	
小 計	¥7,592
<hr/>	
郵便物引受合計通数	104通
課税計 (10%)	¥7,592
(内消費税等)	¥690
非課税計	¥0
<hr/>	
合計	¥7,592
お預り金額	¥10,000
おつり	¥2,408



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2023年 1月12日 9:45
 発行No. 230112A6688 端P37箱02
 連絡先: 永山郵便局
 TEL: 0570-943-963

支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 13 日
支出目的	市議会だより郵送のため		
支出金額	22,411 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	旭川東郵便局		
内 容	市議会だより郵送(料金別納)		
備 考	区内特別郵便(定形) 73 円 × 307 通		

領収書

檀山 啓一 様

[別納引受]
 区内特別基(定) 10.0g
 @73 307通 ¥22,411

小 計 ¥22,411

郵便物引受合計通数 307通
 課税計(10%) ¥22,411
 (内消費税等 ¥2,037)
 非課税計 ¥0

△計 ¥22,411
 お預り金額 ¥22,411



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2023年 1月13日 19:35
 発行No. 230113A3236 端P40箱04
 連絡先: 旭川東郵便局
 TEL: 0570-943-946

支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 14 日
支出目的	市議会だより郵送のため		
支出金額	26,791 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	旭川中央郵便局		
内 容	市議会だより郵送(料金別納)		
備 考	区内特別郵便(定形) 73 円 × 367 通		

領収書

横山 啓一 様

[別納引受]
 区内特別基 (定) 10.5g
 ⑦73 367通 ¥26,791

小 計 ¥26,791

郵便物引受合計通数 367通
 課税計 (10%) ¥26,791
 (内消費税等 ¥2,435)
 非課税計 ¥0

△計 ¥26,791

合計 ¥26,791

お預り金額 ¥30,001

おつり ¥3,210



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2023年 1月14日 14:30
 発行No. 230114A8484 端N15箱01
 連絡先: 旭川中央郵便局
 TEL: 0570-943-585

支 出 票 (市外旅費用)

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 19 日
支出金額	66,550 円	支出費目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費
出張者名	横山 啓一		
出張先	福井県坂井市		
期 間	令和 5 年 1 月 17 日 ~ 令和 5 年 1 月 19 日 (3 日間)		
用 務	坂井市「アーバンデザインセンター坂井」の視察		

(旅費明細書)

旅行月日	別紙明細書の通り
地 名	
鉄道賃	
航空賃	
車 賃	
(km×37円)	
日 当	
宿泊料	
その他	
備 考	

(注) 宿泊を伴う出張については、必ず証拠書類を別紙に貼付の上、添付してください。

上記金額を受領しました。

令和 5 年 1 月 19 日

氏名 横山 啓一

上記のとおり支出したことを証明します。

令和 5 年 1 月 19 日

氏名 横山 啓一

旅 費 明 細 書 (在勤地外)

氏 名
横山 啓一

旅行月日	1月17日	1月18日	1月19日		合 計
地 名	宇治から 坂井まで	坂井滞在	坂井から 旭川まで	から まで	
旅客運賃 (JR)	宇治～丸岡	～	丸岡～品川	～	11,990円
	174.9円		550.9円		
	3,080円		8,910円		
	～	～	～	～	
旅客運賃 (JR以外)	～	～	品川～羽田空港	～	300円
			14.5円		
			300円		
	～	～	～	～	
特急・急行 料金	京都～福井	～	米原～品川	～	7,140円
	2,190円		4,950円		
	～	～	～	～	
航空賃	～	～	羽田～旭川	～	16,370円
			16,370円		
	～	～	～	～	
車 賃	～	～	旭川空港～旭川駅	～	750円
			750円		
	～	～	～	～	
日 当	1,200円	2,400円	2,400円		3日 6,000円
宿泊料	甲 12,000円	甲 12,000円	甲・乙	甲・乙	甲 2泊 24,000円
その他					円
備 考	・11/17は他の用務で宇治市にいるため、その最寄り駅である宇治市駅からの旅費を計上する。また、午後からの出発となるため、日当を減額する。				合 計
					66,550円

領収書

WEB 17c17d7119-VZCF6-223144-0-1000

表示日 2022年12月12日(月)

横山 啓一 様

金額 **¥16,370-** (税込)
クレジット支払い
(消費税10%対象 ¥16,370- (税込))

航空券番号 [REDACTED]


照会番号 [REDACTED]

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2022年12月12日(月)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER 

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

報 告 書

令和5年 1月19日

氏 名 横 山 啓 一

次のとおり用務（行事）を終えましたので、報告します。

用務又は行事名	坂井市「アーバンデザインセンター坂井」の視察
用務又は実施日	令和5年1月17日～19日
用務又は実施場所	福井県坂井市
内 容 (目 的 ・ 具体的内容 ・ 成 果 等)	別 紙
備 考	

(注) 関係書類を添付してください。

(注) 枠内に書ききれない場合は、別紙（任意様式）に記載してください。また、最初から内容を別紙（任意様式）に記載する場合は、当該欄に別紙と記入してください。

(注) 活動の都合上、用務内容を明らかにできないときは、その理由を備考欄に記載してください。

坂井市(アーバンデザインセンター坂井)視察報告書

1. 目的

自治体の規模や行政の関わり方、歴史的な経緯など特徴的な坂井市のアーバンデザインセンターによるまちづくりの先進事例を、すでに視察した松山市、神戸市、宇治市の各アーバンデザインセンターとの比較の中で分析、考察し、とくに開学した旭川市立大学とまちづくりの連携につなげたい。

2. 内容

(1) 坂井市の概要

福井県北部に位置し、福井市に次ぐ県内第2の市で、人口は8万7787人(2023年1月1日、推計人口)。2006年3月に坂井郡の三国町・丸岡町・春江町・坂井町の4町が合併して誕生した。ほぼ全域が日本海に注ぐ九頭竜川水系の流域。旧三国町にある河口付近より北は東尋坊の断崖など岩場が多く、西部には砂丘地および丘陵地が広がるが、その他の大部分は県随一の穀倉地帯である広大な福井平野である。かつては北前船の水運拠点として三国湊が大いに繁栄したが、現在は、九頭竜川河口南部の福井港を中心に臨海工業地帯が広がる。

(2) アーバンデザインセンターの目的と「公・民・学」連携の基本的な考え方

アーバンデザインセンター(以下、UDC)は、地域に必要な公的サービスを担う自治体(公)、市民や経済活動を担う地元企業・事業所(民)、専門知識・技術や先進的な活動を担う大学や研究機関(学)が連携し、全国21の拠点で課題解決型・未来創造型のまちづくりをめざすプラットフォームとして位置づけられ、まちづくりの中核を担っている。

行政の財政状況が厳しくなる中、まちづくりの担い手としての民間の役割は重要になっているが、多様化する地域課題や市民ニーズ、専門的知識不足や合意形成の困難などの要因でうまく進んでいないこと、市の将来像と民間の計画との整合性を図りながら、行政の押しつけにならないよう、中立的立場の専門家が中心となり、行政・市民・企業・大学等が一体となって「公・民・学」連携のまちづくり、とくに民間のまちづくり・人づくりを加速することが求められていること、などから、UDCのようなプラットフォームが有効であるとの実績が各地で得られている。

(3) UDCS設立の経緯と役割

アーバンデザインセンター坂井(以下、UDCS)が位置する坂井市三国町はかつて北前船の寄港地として繁栄した港町で、1990年代から歴史的建築物を含めた町並み整備も進められてきた。しかし、近年は少子高齢化と人口減少が急加速し、まちの空洞化や空き家・空き地の増加、「かぐら建て」町屋の減少による景観の喪失、「三国祭」の山車番の負担増大によるまちの活力低下など、多様かつ複雑な地域課題を抱えていた。

2016年3月に東京大学都市デザイン研究室が取りまとめた「三国まちづくりビジョン」においてアーバンデザインセンターの設置が提言され、公・民・学が連携しながら地域課題を解決するためのまちづくりを推進するプラットフォームとして、まず、2018年4月に活動拠点として「UDCS」がオープンし、9月には一般社団法人「アーバンデザインセンター坂井」が設立された。

すでに1990年代から、旧森田銀行本店の保存運動を展開した有志を中心に発足した一般社団法人「三國湊會所21C」や「みくに歴史を活かすまちづくり推進協議会」から発展した一般社団法人「三國會所」、NPO法人「三國湊魅力づくりプロジェクト実行委員会」など、様々な団体が建築物の修理保存や町並みの整備に関わってきており、2006年の坂井市発足後にも引き継がれ、2013年には坂井市と(一社)三國會所によって「三國湊町屋活用プロジェクト」が開始され、UDCS発足の契機にもなった。

(4) まちづくりの実践例

①UDCS施設の管理・運営

築130年で50年間空き家だった古民家を改修し、UDCSがまちづくりを推進する拠点として三国町松ヶ下区に整備された。UDCSはこの施設の維持管理や利用対応業務の他、イベント企画の運営や各団体との調整などをここでを行い、地元住民が気軽に集い、様々な情報やアイデアが集まる場所になっている。建物に隣接する公共空間は広場や休憩所として利用され、子どもたちの格好の遊び場にもなっている。現在は、小学校の地域学習の受け入れ、住民がまちについて語り合う「三国湊夜咄会」、三国祭でのお囃子体験、「和楽の日」(三国湊界隈の「レトロの日」にあわせて伝統文化を幅広い世代で楽しむ企画)などの拠点となっている。

②町屋活用プロジェクトの成果

UDCS発足前の2013年度から3か年進められていたプロジェクトにより、6軒の空き家が改修され、雑貨屋やフレンチデリ、盆栽屋などの店舗、アレックス・カー氏監修のゲストハウス「詰所三國」、ミニ資料館「マチノクラ」、下新公園「マチノニワ」として利用されている。これらによって2015年度の観光客入込客数は前年度比126%増加し、新たな移住定住者も生まれている。

③空き家再生プロジェクト+裏蔵プロジェクト「くららぼん」

2019年に空き町家の解体見積もり依頼を受けた工務店からの訴えを契機に、空き家情報の収集や改修制度等の情報提供、空き家再生事業の企画立案・マッチングをUDCSが行っている。2019~21年度には、16軒の空き家利活用相談、14組の活用等希望からの問い合わせに対応している。UDCSの裏の土蔵の改修プロジェクト「くららぼん」には、福井大学の学生が基本設計に携わり、他大学の学生のDIYによる家具づくりなどによってキッチン設備を備えた施設に再生された。この土蔵の基礎などに使われていた笏谷石(福井県足羽山で採掘され、北前船で全国に出荷された。越前青石ともいう。)も再活用されている。

④三国高校プロジェクト

三国高校の魅力向上、町づくりプレーヤーの育成を目的に、1年生の総合学習を東京大学とUDCSがサポートし、旧市街地の空き家を活用したイベントを2020年から実施し、2021年度からは坂井市から「三国高校地域コーディネーター業務」をUDCSが受託している。

⑤まち歩きサインプロジェクト

三国湊における回遊性向上を目的としたまち歩きサイン整備の計画策定にUDCSが携わった。学生チームによる悉皆的な現況調査を踏まえた計画を策定し、福井工大生によるサインデザイン、地元住民の協力による設置工事などが行われた。財源は坂井市ふるさと納税を原資とした。

⑥丸頭竜川クルーズ

三国湊エリアから坂井市全域・広域に展開する事業として、三国と福井を結ぶ舟運社会実験として2022年3月に実施された。(当初は2020年の予定がコロナ感染拡大により延期)2018年から実施した「まちづくりアイデア40」の人気投票で1位となったプロジェクトで、UDCSを事務局とする実行委員会には国土交通省、坂井市、えちぜん鉄道、京福バス、東尋坊観光遊覧船などが参画し、国交省社会実験事業として企画された。

3. 成果

- ①地域が抱える課題に対して、市民の問題意識や活動がそのベースにあり、それに大学のもつ専門知識や学生のアイデア性が加わり、坂井市も行政として活動を下支えするしくみが整っており、すでに視察した松山市、神戸市、宇治市とはすこし異なる特徴を持つことがわかった。
- ②100年以上の歴史をもつ建物や町並みを地元の手で何とかしていこうというUDCS発足前の動きは、旧市庁舎の保存を市行政に求めている旭川市民の活動と比較したとき、その方向性の違いなどが際立つ。他市と同様、UDCSには複数の大学が参画しており、主体的に活動に参画するプレーヤーとしての学生メンバーにとってUDCSが「灯台」のような存在となって学生や市民を結びつけている様子もうかがえた。旭川市にある3大学も、そうした連携のしくみが必要だ。

支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 25 日
支出目的	新聞資料購入のため		
支出金額	2,750 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	株式会社 日本教育新聞社		
内 容	日本教育新聞購読料 2023年 1 月分		
備 考			

(領収書貼付欄)

領 収 証

旭川市議会 無所属

横山 啓一 様

(コード: XXXXXXXXXX)

金額 2,750 円

但し 日本教育新聞 購読料

購読期間 (年月) : 202301 ~ 202301 分として

(自動口座振替)

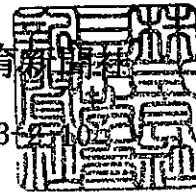
受領日 : 2023/1/25

上記の金額正に領収いたしました

株式会社日本教育新聞社

東京都港区白金台 3-1-1

TEL03-3280-7025



ご指定の金融機関の預貯金口座より
自動振替させていただきました。

支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 25 日
支出目的	市議会だより郵送のため		
支出金額	31,317 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	旭川中央郵便局		
内 容	市議会だより郵送(料金別納)		
備 考	区内特別郵便(定形) 73 円 × 429 通		

領収書

横山 裕一 様

[別納引受]
 区内特別基(定) 10.0g
 @73 429通 ¥31,317

小 計 ¥31,317

郵便物引受合計通数 429通
 課税計(10%) ¥31,317
 (内消費税等 ¥2,847)
 非課税計 ¥0


合計 ¥31,317
 お預り金額 ¥32,020
 おつり ¥703



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2023年1月25日 19:53
 発行No. 230125A7176 端P33箱01
 連絡先: 旭川中央郵便局
 TEL: 0570-943-585

支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 26 日
支出目的	市議会だより郵送のため		
支出金額	20,221 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	旭川東郵便局		
内 容	市議会だより郵送(料金別納)		
備 考	区内特別郵便(定形) 73 円 × 277 通		

<h2 style="margin: 0;">領収書</h2> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">横山 啓一 様</p>	
[別納引受] 区内特別基(定) 10.0g @73 277通	¥20,221
小 計	¥20,221
郵便物引受合計通数	277通
課税計(10%)	¥20,221
(内消費税等)	¥1,838)
非課税計	¥0
△ 合計	¥20,221
お預り金額	¥20,221
	
〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 取扱日時：2023年1月26日 17:22 発行No. 230126A2145 端N36箱10 連絡先：旭川東郵便局 TEL:0570-943-946	

支 出 票

支出年度	令和 4 年度	支出年月日	令和 5 年 1 月 30 日
支出目的	市議会だより郵送のため		
支出金額	1,764 円	支出費目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
支出先	旭川中央郵便局		
内 容	市議会だより郵送(料金別納)		
備 考	料金別納郵便(定形) 84 円 × 21 通		

領収書

横山 啓一 様

[別納引受]
 第一種定形 18.0g
 084 21通 ¥1,764

小 計 ¥1,764

郵便物引受合計通数 21通
 課税計(10%) ¥1,764
 (内消費税等 ¥160)
 非課税計 ¥0

合計 ¥1,764
 お預り金額 ¥2,005
 おつり ¥241



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2023年 1月30日 16:43
 発行No. 230130A1505 端N22箱11
 連絡先: 旭川中央郵便局
 TEL: 0570-943-585